

min-na うれしい！
~Everyone is happy!!~

市立札幌開成中等教育学校 5期生 第3学年通信
発行:平成30年10月11日 木曜日

No.42

みな
うれしい

後期のスタートです！

3学年がスタートしてから半年が経ち、後期が始まりました。みなさんの学校生活がより充実することを願っています。さて、今回は3学年の先生方からみなさんにエールを送りたいと思います！

ある生徒が大(中?)遅刻をし、「自分の力で起きようとしたら、起きられませんでした。」と笑って話をした。いつもは親に起こしてもらっているのでトライしたのだという。起こさなかったご家庭からも自立を見守る姿勢が見え、好感をもった。何より普段から挑戦して成長しているこの生徒だからこそ、叱る気持ちにはなれず、思わず笑ってしまった。今後、生活習慣の悪さを改善して自分で起きることを続けたいと話していた。

自立に向かってトライ and エラーを続ける若者の姿が好きでこの仕事をしているような気がする。遅刻はダメだが、エラーを恐れて何もしないのもダメだ。失敗(エラー)をさらけだし、次の行動に移し改善することが「生涯にわたって学び続ける力」には不可欠である。義務教育もあと半年で終わる。自分の力でできていることの数が自立の度合いである。自立は、思いだけでは達成できず、行動(トライ and エラー)でしか達成できない。学校で失敗を見せないように、塾で一生懸命に学ぶことは決して悪いことではないが、この考え方が社会に出ても変わっていない若者が多いのではないだろうか。大学の先生も、企業の上司も、トライ and エラーを目の前でさらけだしながら挑戦し続ける若者の方が安心して見ていられるのではないだろうか。困った時や失敗したときに相談に来る若者の方が、早期対応が可能になるはずである。高大接続で改革が叫ばれているが、結局は目の前でトライ and エラーをさらけ出し、成長を目指し行動し続ける若者たちが求められているのではないだろうか。

3年1組担任 山岸陽一

まだ何者でもなかった十五歳の自分を思い返すと、分からなかったからこそ、知らないことに挑戦したり好きなことに熱中できたのかな、なんて思います。裏をかえすと、経験を重ねて分別が付いてくると、それらが思わぬ縛りになってしまうこともあるってことです。

やりたいことは、今のうちにやっておこう。今しか感じられないことがある。

二度と来ない、たった一度の十五歳を満喫してくださいね。

3年2組担任 加賀一

気がつけば半年が過ぎました。残り半年もあっという間に過ぎ去っていくのでしょうか。時間は有限ですが、その時間をどのように過ごし、どのような意味を持たせるのかはみなさん次第だと思います。ぜひ、振り返ったときに「これでよかった」と思えるような日々を創り上げてください！みなさんの創る日々を、一緒に楽しみたいと思います！

3年学年付 宮谷光輝

リサーチ型企业研修振り返り『働く上で大事にしたいこと』には『繋がり・探究心・前向きさ・笑顔・コミュニケーション・協力・思いやり・感謝・ニーズ・proactive・自己管理・挑戦』といったキーワードが挙がっています。これらは働く時だけに限ったことではなく今の生活や活動でも大切なことだと感じます。将来のためにも、今の自分のためにも、これらのキーワードをより意識して生活できると、さらに考えや行動の幅が広がったり成長につながったりするのではないかと思います。後期も頑張っていきましょう。

3年3組担任 大澤たまみ

あと半年で6年間の半分が終わります。なんて早いんでしょう。一般の中学生だったら受験の準備と学校生活のしめくり、そして卒業で義務教育も終わり…なんていう意識なんでしょうか。リサーチ型企业研修を終えて、自分の将来についてのイメージが具体化してきている今だからこそ、できること・やるべきことに取り組んでください。早くから意識できるのが開成で学べる良いところ。自分の生き方を決める分かれ道は、もうすぐそこまで来ていますよ。

3年4組担任 小林純恵

強歩大会の様子



10月2日の8:30過ぎ、ツルハ裏の介護施設の利用者(おじいさん)が入り口で転んでしまったのを見て、開成3年生の男子生徒がすぐに助けてくれたという連絡が施設のヘルパーさんからあった。「自分が遅刻するかもしれない中、助けてくれて感動しました。ありがとうございました。」という言葉伝えて欲しいという内容でした。優しさは人の心を動かします。どんなときでも、誰かを気遣う優しさを大切にしたいですね。素敵なエピソードを聞けて、嬉しくなりました。(宮谷)